

近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.64
2020年11月

目 次

提言.....	2
	和歌山病院 平木 精一
薬剤部紹介.....	3
	近畿中央呼吸器センター 安井 みのり
「第 74 回国立病院総合医学会」参加報告.....	5
	大阪南医療センター 土江 亜季 兵庫中央病院 中野 美穂
新採用者紹介.....	7
	東近江総合医療センター 福岡 美紀 大阪医療センター 吉金 鮎美 姫路医療センター 赤沼 彩 姫路医療センター 大谷 明日香
ホームページの活用について.....	8
	京都医療センター 別府 博仁
趣味のページ.....	9
	京都医療センター 東 里奈
編集後記.....	10

提 言

和歌山病院 平木 精一

「提言」というお題で原稿を、とのことで、私にお鉢が回ってまいりました。会員の皆様への何がしか有意義な助言を、といったところでありましょうか。とはいえ、そんな偉そうなことを言える「ガラ」ではないので、依頼された当初は例のアンサンブル何とかというドラマにいろいろ突っ込んだり、突っ込まなかったりしてお茶を濁そうと考えていたのです（例えば、やたらと「処方できるのは医師だけだ」とか言っていましたが、若い方はご自分が処方する日が来るのもそう遠くないのでは、とも思います）。しかしどうも現在の社会情勢を見ますと、かのウイルスの話は避けて通れないようです。新型コロナ騒動のおかげで、研修や講演会等は軒並み延期、中止となっております。自己のスキルアップはもちろん、各種資格認定にも関連してくるため、とりわけに若い皆さんはお困りかと思えます。それでも最近では Web 開催の講演であるとか各種リモートでの企画も充実してきているようで、あるいはまた、利用する方も慣れてきているように思いますので、皆さん機会を捉えて、面倒がらずに可能な限り参加するようにしてくださいね。

さて、こういった現在の状況下での病院薬剤師の役割につきまして、少々思うところを。先日各施設の薬剤師の対応をまとめた資料を見せてもらったのですが、それによりますと、薬剤管理指導・病棟業務等、患者様と直接対面する業務については、まあやむを得ぬ事情はありまじょうが、どうもはなから腰が引けてしまっているような印象を受けました。例えば、当院でも陽性が出た患者様への病棟での薬剤管理指導は控えることにしていますが、発熱外来に来院の患者様には、薬剤師が直接薬を手渡し、指導を実施しています。さらにもっと踏み込んだ患者対応で頑張っておられるご施設もあろうかと思えますが、ニュース等のマスメディアで病院薬剤師が取り上げられたといったことは、寡聞にして知りません。病院薬剤師の働きを宣伝する好機かとも思え、いささか残念な気がします。ところで最近、この特異な社会状況についての考察・分析、あるいは来るべき将来についての予見といった情報が大量に各種メディアで流れております。この事態をきっかけに今後の社会の在りようそのものがドラスティックに変容し、かつ今後もそういった現実の人間同士のディスコミュニケーションが常態化した世界が、あたかもずっと続いてゆくかのような未来社会がまことしやかに論じられています……本当でしょうか？ コロナの存在するこれが通常の世界であるという認識を、みなさんご自身が心の中に定着させてしまうというのは、いかがなものかと思えます。この状況はいずれ必ず終わり、ナマの人間と人間がきちんと対面して話をする社会に戻る日が来ます。そしてそういう社会こそが、正常で、真実で、本来あるべき世界なのです。

と、いうわけで、今から皆さんも準備しておかねばなりません。

……まあ、まだどこかで飲みましょう。

薬剤部紹介



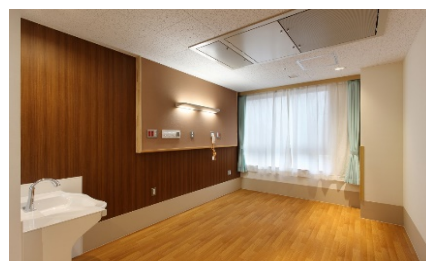
独立行政法人 国立病院機構

近畿中央呼吸器センター

National Hospital Organization Kinki-chuo Chest Medical Center

【病院概要】

近畿中央呼吸器センターは、大阪府堺市北区に位置し、国立病院機構の政策医療における呼吸器疾患(結核含む)分野の高度専門医療施設となっています。国立療養所近畿中央病院を前身とし、2018年9月に近畿中央胸部疾患センターから近畿中央呼吸器センターへ名称が変更となり、新病棟がオープンしました。病棟設備が一新したことに加えて緩和ケア病棟を新設し、呼吸器専門施設としての機能を一層充実させています。



堺市は、古代には仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築造され、中世には海外交易の拠点として「自由・自治都市」を形成し、日本の経済・文化の中心地として繁栄してきました。地名は旧摂津国・旧和泉国・旧河内国の三国の「境(さかい)」に発展したまちであることから付いたと言われています。戦後には臨海コンビナートと泉北ニュータウンが造成され、大阪府内で人口・面積ともに大阪市に次いで第2の都市(人口82.5万人)であり、2006年に政令指定都市に移行しました。

- 病床数：311床(一般271床、結核40床)
- 主な診療科：内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器科、心療内科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、病理診断科

●基本理念

1. 地域に根ざした高度な医療を提供します。
2. 良質な医療とコミュニケーションを実践できる人材を育成します。
3. 独創的な臨床研究の成果を世界に発信します。

【薬剤部概要】

薬剤部は、薬剤部長、副薬剤部長、主任 7 名(調剤主任、薬務主任、製剤主任、病棟業務管理主任、治験主任)、薬剤師 11 名、薬剤助手 1 名で構成されています。

病棟業務においては、2013 年から結核病棟を含む 7 病棟すべてに専任薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算 1 を算定しています。薬剤部内では月 1 回カンファレンスを開催して、チーム医療(PCT、ICT、NST)専任薬剤師と各病棟担当薬剤師や DI 担当薬剤師との情報交換など、薬剤師間の連携強化を図っています。

外来においては、2014 年から薬剤師外来を開設し、採血などの検査後に診察までの待ち時間を有効利用して診察前予診を行い、がん患者指導管理料への算定も行っています。面談件数は約 55 件/月で、積極的に処方提案や検査依頼を行い、副作用の早期発見や軽減に努めています。また、連携充実加算を算定するために、「外来化学療法報告書」を発行し保険薬局との連携、ホームページへのレジメン公開を進めています。

治験においては、受託研究請求金額が NHO 近畿グループで 2 位であり、治験契約件数は 47 件(2020 年 10 月現在)となっています。治験支援業務委託企業(SMO)を導入していることで、より多くの治験を受け入れており、院内 CRC とも連携しながら、治験を含む臨床試験の円滑な実施を支援しています。

今後も薬剤部の力を結集して、地域との連携を発展させながら、安全で良質な医療の提供、医療安全対策、医薬品の適正使用推進に努めていきたいと考えています。



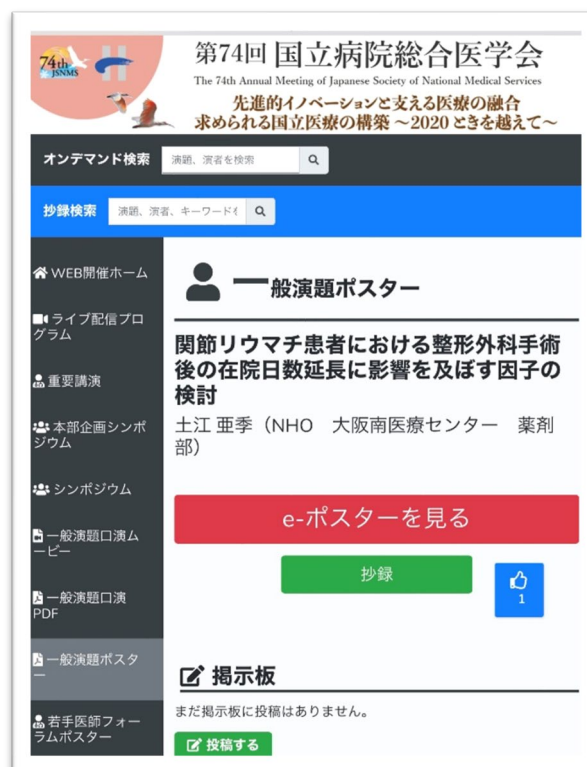
(文責：安井 みのり)

「第 74 回国立病院総合医学会」参加報告

大阪南医療センター 土江 亜季

今年は新潟で開催の予定でしたが、COVID-19 の影響で 2020 年 10 月 17 日～11 月 14 日に Web 開催となりました。一般演題のポスター発表で参加したのでご報告いたします。

私は「関節リウマチ患者における整形外科手術後の在院日数延長に影響を及ぼす因子の検討」という題で発表いたしました。関節リウマチ患者に対する整形外科手術では、疾患や使用薬剤に伴う合併症として、感染・創傷治癒遅延などがあり、これにより入院期間延長や費用負担を強いられることがあります。当院における現状を後方視的に調査し、ステロイドなどの薬剤使用の有無やリウマチの活動性指標、栄養指標、基礎疾患スコア、出来高金額などについて比較検討を行いました。今回の調査において薬剤では差は認められませんでした。症例数が少ないため症例を重ねて今後も検討したいと考えております。



Web 開催のみとなり残念な気持ちもありましたが、①発表閲覧期間が長い、②キーワード検索によって興味のある発表を短時間で探すことができる、③参加費が安く設定されているなど Web での利点も多いことを実感しました。発表ごとに掲示板が設置されており質疑応答が可能なこと、また SNS のように「いいねボタン」があり多く集められると記念品が贈呈されるという他の学会とは異なる試みもされているなど、ならではの工夫を楽しむこともできました。これからも現地開催が難しい状況は継続するかもしれませんが、発表の場があることに感謝し、よりよい発表ができるように今後も精進して参りたいと思います。

「第 74 回国立病院総合医学会」参加報告

兵庫中央病院 中野 美穂

令和 2 年 10 月 17 日から 11 月 14 日にかけて第 74 回国立病院総合医学会が開催されました。当初は新潟県朱鷺メッセにて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、WEB 形式で開催されることになりました。薬剤師となって初めての学会参加となりましたので、その報告をさせていただきます。

本学会はメインテーマとして、「先進的イノベーションと支える医療の融合 求められる国立医療の構築～2020 ときを越えて～」を掲げていました。現在、最先端の医薬品や医療機器のイノベーションが進み、これまで治療不能であった患者に対しても革新的治療がはじまっている一方で、国立病院機構では疾患、障害、年齢を問わず患者を支えていく医療の工夫を日々行っています。本学会では、地域や職種の壁を越えて、多角的な意見交換を行い、安定した医療の継続のため、互いに切磋琢磨していきたいという思いが込められていました。

学会に参加して、プレアボイドの報告件数増加への取り組みについて発表されているポスターが何件かあることに気がきました。特に印象に残ったのは、経験年数の浅い薬剤師のプレアボイド報告件数が少ないことに着目し、評価方法の簡便化やプレアボイド報告への意識付けを図った取り組みについての発表です。当院においても、各病棟からプレアボイド報告をできるような体制や、薬剤部内でのプレアボイド報告の共有などの取り組みを行っていますが、実際に他施設で行われている工夫された取り組みに触れ、自分たちの日々の業務を他部署や他施設へアピールすることの意義を再確認いたしました。

また、「アンサンングシンデレラ ～国立病院の薬剤師は今～」のシンポジウムを拝聴して、普段当院では触れることの少ない産婦人科、COVID-19 専従病棟などにおける薬剤師の役割について学ぶ機会がありました。「薬剤師が最後の砦だから」という信念のもと、適切な薬物治療の提供と患者満足度向上のため、「お薬手帳カバー」という新たな患者情報共有ツールを提案されたという講演は、ひとつひとつの業務ときちんと向き合っているか、自分にとって再度振り返るきっかけとなりました。入職して半年がたち、日々の業務の中で多くのことを学んでいますが、まだまだ知らないことも多く、今学会への参加を機に、もっと勉強をしなければならないと改めて実感いたしました。今はインプットするばかりですが、これからはより多くのことをアウトプットしていけるよう、ひとつひとつの業務により真摯に向き合っていきたいと思えます。



新採用者紹介 ～ニューフェイス～

●名前：福岡 美紀（ふくおか みき）

●施設名：東近江総合医療センター

●出身大学：神戸学院大学

●座右の銘：人生に無駄な経験はない

●抱負：8月より東近江総合医療センターに入職させていただきました福岡美紀です。

いくつかの大学といくつかの職を経て、縁あって東近江医療センターにお世話になることになりました。歳をとった新人で皆様にご迷惑をおかけすること多いと思いますが、精いっぱい勤めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●名前：吉金 鮎美（よしかね あゆみ）

●施設名：大阪医療センター

●出身大学：武庫川女子大学

●座右の銘：ローマは一日にして成らず

●抱負：大阪医療センターに配属となりました、吉金鮎美と申します。業務を覚えることに苦戦しながらも、やりがいをもって業務に励んでおります。コロナの状況下ではありますが、尊敬できる先生方との出会いを通して精進していければと思っております。まだ至らぬ点も多いですがご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

●名前：赤沼 彩（あかぬま あや）

●施設名：姫路医療センター

●出身大学：東北薬科大学

●座右の銘：為せば成る

●抱負：11月より姫路医療センターで勤務させていただいております赤沼彩です。日々の業務に慣れ、知識や経験を深めていけるよう頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

●名前：大谷 明日香（おおたに あすか）

●施設名：姫路医療センター

●出身大学：姫路独協大学

●座右の銘：一期一会

●抱負：10月に姫路医療センターに入職しました、大谷明日香です。様々なことに挑戦し、日々成長出来るよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ホームページの活用について

広報担当理事
別府博仁

今年度より、ホームページをリニューアルし、委員会のページを新設いたしました。このページは、各委員会の活動報告など、委員長主導で活用していただくページにしたいと思います。会員の先生方も本ページをご覧ください、委員会の活動状況をご確認ください。



新たにリニューアルしたページです。各委員会のバナーをクリックしていただくと、掲載内容がご覧いただけます。

現在、臨床研究委員会・循環器委員会・栄養・褥瘡委員会のページに資料が掲載されております。随時更新予定ですので、会員の先生方も是非ご確認ください。

近畿中央呼吸器センターの関口先生からバトンを受け継ぎました。京都医療センターの東 里奈と申します。関口先生とは同期であり、飲みに行ったり映画を観に行ったりと普段から親しくさせていただいています。趣味のページを書くにあたり色々と考えましたが、私は水族館に行くことが好きなので、今回は実際に行ったことのあるおすすめの水族館についてご紹介したいと思います。

最初は静岡県の「沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム」です。駿河湾に面したこの水族館は館名の通り深海魚を専門とした日本でも稀な水族館となっております。中でも目玉は、世界で唯一シーラカンスの冷凍標本を見る事が出来る所です。また、他の水族館では普段なかなか見る事が出来ないような希少な深海魚も展示されており、好奇心をくすぐられます。



次に紹介するのは、福岡県の「マリンワールド海の中道」です。おすすめポイントは、レストランがイルカプールと併設されており、イルカたちを眺めながら食事を行うことができる所です。また、アプリと連携し自身のスマホなどを生き物にかざすと、その場で名前や特徴などの情報を知ることができ、子どもも大人も楽しめる水族館となっています。

最後は、近畿ではおなじみのお大阪府の「海遊館」です。ジンベイザメを中心とした魚たちの大水槽を眺めているだけでも癒されますが、私のおすすめはバックヤードツアーです。普段見る事のない水族館の裏側を見る事ができ、飼育員さんのお話を聞くことで、水族館をさらに楽しめると 생각합니다。海洋生物用の薬剤棚にウルソや、000号カプセルなどを見つけることも出来たので、ツアーに参加される際はぜひチェックしてみてください。



お読みいただきありがとうございました。次回は大阪刀根山医療センターの西田 神奈先生にお願いしております。よろしくお願いいたします。

編集後記

♪ 世間はGO TOで少し街にも活気が戻ってきましたが、新型コロナウイルス感染症は第三波に突入したとも言われ、インフルエンザの流行期も迫ってきています。今年の師走は例年とは違うシーズンになってしまいそうで、注意が必要ですね。

♪ 新型コロナウイルスに、菅内閣の発足、東京オリンピックの延期、今年は大きな出来事ばかりであったという間の1年でした。来年はみんなが笑顔になれるような明るい話題が増えることを願います。

♪ ご多忙の中ご寄稿いただきました先生方、誠にありがとうございました。各学会では通常開催が難しい中WEBでの参加が可能なケースも増えてきましたが、今回若手の先生からWEBでの学会参加レポートも掲載しております。学会参加に足が遠のいておられる先生は一度参考になされては如何でしょうか。

(S.T.)

近畿国立病院薬剤師会会誌

第六十四号 令和二年十一月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

神戸市須磨区西落合3-1-1

(独立行政法人国立病院機構神戸医療センター薬剤部内)

発行人 会長 河合 実(神戸医療)

編集 広報担当理事	別府 博仁(京都医療)
広報委員	水津 智樹(大阪南医療)
	村津 圭治(京都医療)
	常倍 翔太(兵庫中央)
	池上 洋平(京都医療)
	野田 拓誠(京都医療)